

川崎区少年野球連盟 ドリームリーグ戦規定

川崎区少年野球連盟が主催するドリームリーグ戦に関する規定は下記による。

- (1) 参加資格は、川崎区少年野球連盟に所属する単独または連合チームとする。
- (2) 選手の出場資格は、4年生以下とする。
- (3) グラウンドルールは、投手-捕手間 14m、塁間 21mとする。
- (4) 試合球は、J号を使用する。
- (5) リーグ戦形式・日程・順位決定方法
 - ① 全チームの総当たり1回戦方式とする。
 - ② リーグ戦の順位は①勝率(勝ち数/試合数(引き分け除く))、②勝ち数、③引き分け数、④当該チームの対戦結果、⑤得失点差、⑥総得点数の順に決定する。
- (6) メンバー表は、自チーム分を含め4枚提出すること。
 なお、メンバー表は手持ちのものを使用すること。
- (7) 試合は5イニング制とし、試合開始の「プレイ」宣告後、1時間20分を経過したら、新しいイニングに入らない。規定時間が経過したら、イニング数に関係なく正式試合とする。なお、5回終了または規定時間を経過しても同点の場合は、引き分けとする。
- (8) コールドゲームを採用する。
 コールドゲームは、3イニング終了以降10点差、4イニング終了以降7点差とする。
- (9) 投手の投球制限は、以下の通りとする。
 1人の投手は1日60球以内とする。継続して60球に達した場合、その打者の打撃が完了するまで投球できる。ボークにもかかわらず投球した場合は投球数とする。また、一日でダブルヘッダーや特別継続試合を行う場合や、タイブレークとなった場合、1日60球以内であれば引き続き投球することができる。すなわち通算60球とする。
- (10) 走者の離塁は無しにする。(投球されるまで離塁できない)
- (11) 攻撃側の特別ルール
 攻撃側の1イニングの得点が10点に到達した時点でスリーアウトが成立しない場合、打撃を終了した時点で攻守を交代する。すなわち、1イニングの最大得点は13点とする。
 (9得点した後の打者が満塁ホームランを打った場合には13点となる)
- (12) 特別ルールの場合、1イニングの最大得点は13点となり、現実的には得点の少ないチームの攻撃を実施しなくても勝敗が決定する試合展開がある。しかし、下記の事例の通り、できる限り試合経験を積ませるため、得点の少ないチームの攻撃を実施する。

	一	二	三	四	五	六
A	2	3	0	10		
B	0	0	0	4		

・ 試合時間が規定時間を超え、四回裏の攻撃でBチームが逆転する可能性はないが、Bチームの攻撃は実施する。

- (13) 上記以外は、レギュラー大会の試合規定および大会注意事項を適用する。

2026年2月28日 制定